

リタイア犬の申込を検討されている方へ



犬は長生きすると 15 歳以上生きるものもいます。譲渡になる犬の年齢は繁殖犬、PR 犬の場合 7 歳～、盲導犬の場合 10 歳～の犬になります。譲渡後約 5 年～8 年以上共に暮らすこととなりますが、高齢になると介護が必要になることもあります。ラブラドルの体重の目安は 20～35 kg になります。大型犬のお世話ができる体力があるかどうかをよくご検討下さい。



犬を飼育するうえで、日々の健康管理はきちんと行わなければいけません。犬の場合、狂犬病注射、混合ワクチン、フィラリアの予防薬、ノミダニ予防など必ず必要になってきます。また病院に通わないといけなような病気をしてしまうかもしれません。病院での注射や薬代は体重によって高くなりますので大型犬の治療費は小型犬よりも高額になってしまいます。日々の健康管理に必要な費用はもちろん、病院での突発的な治療代などが必要になることがありますので大型犬を飼育するには費用がかかることをご理解下さい。

協会の犬たちは小さい頃から人のそばで暮してきた犬ばかりです。少しの時間のお留守番はできますが、長期間留守にされるお宅だと犬にとってはストレスを感じてしまう環境になってしまいます。4 時間を超える留守時間がある場合は譲渡をお断りする場合がございます。



譲渡手続きを行う上で私たちは、犬が寿命を全うする最後の時までお世話をして下さる方にお渡ししたいと考えております。ご高齢の方への譲渡の場合今は問題がなくても、今後健康上の問題等で犬の世話が出来なくなってしまうようなことも考えられます。そのようなリスク軽減の為に紹介時 65 歳を超えている方への譲渡はお控させて頂いております。

繁殖犬や PR 犬のリタイアの場合、訓練が十分に入った状態でのお渡しではないことをご理解ください。

